

意見・質問	回答
<p><一般競争入札案件></p> <p>① 令和5年度 防災林造成事業 塩浜地区 海岸工事</p> <p>・入札参加可能者が各入札参加資格要件を満たしているかは事前に確認していると思うが、配置予定技術者が実際に配置可能であるか否かも事前に把握しているのか。</p> <p>・令和4年度にも同様の案件があるが、この時も入札可能者数と入札参加者数は、同程度であったか。</p> <p>・この区間の工事は、令和4年度から令和6年度まで3つに分けてあり、いずれも予定価格6千万円未満となっているが、これぐらいの規模で発注することが一般的なのか。</p> <p>・関連工事の基準はどのようなものか。</p>	<p>回答</p> <p>・主たる営業所の所在地と経営事項審査の結果で参加可能者を抽出している。配置予定技術者に関しては、参加申請時の書類で審査するので、入札参加可能者を絞った段階では、各業者の配置予定技術者の確認は行っていない。</p> <p>・同意程度であった。</p> <p>・国からの予算に合わせて発注するため、各年度とも同程度の規模になっている。</p> <p>・抽出された工事に係り、建設業法別表第一に規定する区分（工事種別）が同一かつ施工方法が同種の県発注建設工事で、年度又は工区によって、抽出された工事と分割して発注されたものである。</p>

意見・質問	回答
<p>② 令和5年度（令和2年発生）林道災害関連事業 白山線 災害関連工事その2</p> <p>・今回の工事の落札者は、関連工事の契約業者であるJVの構成員と同じか。</p> <p>・今回、入札者が1者しかいなかった理由として、年度末の発注だったためとの説明があったが、年度末でなければ、複数の入札があったのか。</p> <p>・年度末に発注となったのはなぜか。</p> <p>・このホワイトロードでは、過去にも災害があり、他の工事の発注もあったと思うが、この地区では今回の業者だけが応札しているということはないか。</p> <p>・入札時期で入札参加者数は左右されるものなのか。</p>	<p>・そのとおり。</p> <p>・業者の手持工事等の関係から時期的なものはあると推測する。</p> <p>・ホワイトロードでの工事施工条件が厳しい中、供用中の道路の上に施設を設置するため、通行規制しながら施工しなければならない。このような関連工事の進捗等も見極めながらの発注したものである。</p> <p>・平成30年以降、通行止めを要する災害が多くなっているが、この地区に精通した業者は、他にも多数いる。</p> <p>・各業者においては、受注件数や技術者の人数の状況から判断し、参加するものと思われる。</p>

意見・質問	回答
<p>③ 金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方 道改築工事（浅野川うみかん大橋 海側 P1橋脚工）</p> <p>・入札結果において1者が「無効（他工事落札）」となっているが、他工事とは何か。</p> <p>・入札参加資格における「施工実績」について、金沢市発注工事においては「金沢外環状道路海側幹線に限る」としているが、こちらを設けた理由はなにか。</p> <p>・入札価格に対して、順位に逆転が生じているが、具体的な要因は何か。</p> <p>・技術提案評価における学識経験者の役割はなにか。</p>	<p>・だるま落とし方式で同時に入札を実施した関連工事である。</p> <p>・当該路線には金沢市が施工している区間があり、その区間での施工実績に限っては、同一路線・同一規格であるため、同等の実績として加味したもの。</p> <p>・技術提案の評価や除雪協力などの地域貢献度の評価により、技術評価点に差異が生じたことによる。</p> <p>・県が設定した技術提案課題について、課題の妥当性について、学識者に意見聴取を実施する。 なお、事業者より提案された技術提案内容の評価は県が実施する。</p>

意見・質問	回答
<p><指名競争入札案件></p> <p>④ 令和5年度 緊急総合地すべり防止事業 百合谷地区 地すべり防止工事その2</p> <p>・指名した業者すべてが入札しているが、辞退等がなく参加しているのはなぜか。</p> <p>・この工事が完了すれば、開通できるのか。</p>	<p>・建築関係に比べると、土木関係の指名競争入札では、辞退等は少ない傾向にある。</p> <p>・指名者は地元精通している業者であり、その地区での災害の緊急工事であるため、入札参加には、協力的な意思があるものと思われる。</p> <p>・今回の地滑り対策工事は、土の中の水をボーリングで抜き、地滑りの原因である山の上部の土を除去することで、地滑りを止めるものである。その後、林道の復旧工事をして開通する。</p>

意見・質問	回答
<p>⑤ 5災397号 主要地方道 白山公園線 道路災害復旧工事（法面工その1）</p> <p>・アンカー工の実績がある業者が、22者ということか。</p> <p>・関連工事についても、同一の10者を指名したのか。</p> <p>・だるま落とし方式でやる場合、指名業者数は増やすのか。</p> <p>・指名者数の考え方は決まっているのか。</p> <p>・指名に当たって、これまでの指名回数を考慮したと説明があったが、具体的にどのようなことか。</p>	<p>・県内でアンカー工の実績を有するA等級の業者が22者である。</p> <p>・そのとおり。</p> <p>・最後に開札する工事において、入札参加者が確保されるように指名者数を確保する。今回の場合、3本だるま入札であったため、10者を指名し、3本目の開札時に8者確保されるようにしているものである。</p> <p>・「石川県土木部建設工事の指名方針」にもとづいている。</p> <p>・管内での工事の指名状況・受注状況を考慮し、指名者を選定したものである。</p>

意見・質問	回答
<p>⑥ 6災 富来漁港 災害復旧工事（物揚場、－3.5m岸壁）</p> <p>・最低制限価格は事前に公開しているのか。</p> <p>・最低制限価格と同額で入札する業者が複数あるが、なにか理由があるのか。</p> <p>・辞退者に対する罰則はあるのか。</p>	<p>・事前に公表していない。</p> <p>・予定価格を事前に公表していることや積算システムの向上のため、最低制限価格を積算することができると思われる。</p> <p>・罰則はない。</p> <p>・辞退者には、辞退理由を確認することとしており、本工事については、発災から間もなく、事業者によっては体制が整わず辞退に至ったと聞いている。</p>

意見・質問	回答
<p><随意契約案件> ⑦ 金沢港クルーズターミナル 災害復旧工事</p> <p>・見積もり提出業者と契約締結業者は同一か。</p> <p>・見積もり金額が妥当かどうかについての確認は行ったか。</p> <p>・今回の随意契約においても、競争入札と同程度の価格で契約できたと考えられるか。</p> <p>・竣工日が3月29日となっているが、この日まで工事を継続していたのか。</p>	<p>・同一である。</p> <p>・見積もり金額の妥当性については、営繕課等と協議したもの。</p> <p>・同程度の価格になったと考えている。</p> <p>・3月29日は完成書類の提出日である。一定程度の工事が完了した2月の中旬には、施設の利用を一部再開していた。</p>